

緊急シンポジウム「東北アジアの平和と日朝国交正常化」 の呼びかけと賛同のお願い

あやめの便りも聞かれることとなりました。

2000年6月の「南北共同宣言」は朝鮮半島・東北アジアの平和に向けて大きな前進であり、以後、南北関係は友好の度を日に日に強めています。日朝間も2002年9月17日の「日朝ピョンヤン宣言」は、日朝関係を新たな地平に立たせるものでしたが、その後は拉致問題のみが焦点化し、交渉は前進していません。また、6カ国協議は、2005年9月19日の「共同声明」で、朝鮮半島の非核化がうたわれるなどの成果と前進を見ました。しかし、その後は米朝間の対立などで停滞し、協議は再開されていません。日本国内では、圧倒的な「拉致問題」世論のなかで「経済制裁」が喧伝されたままです。このなかで在日コリアンに対する人権侵害が後を絶ちません。他方、朝鮮総聯と民団という対立してきた2大在日組織が和解を宣言するなど新たな前進を生み出そうとしています。

こうしたなかで、いま、改めて日朝両政府に対して、日朝ピョンヤン宣言を基礎に、制裁や対立ではなく、対話をもって両国の懸案課題の解決を求めていく必要があります。そのためにも、これまで東北アジアの平和に向けて努力してきた諸団体・個人が現状認識をともにし、いかにして現状を打開するかを協議し、共同のアピールを採択し、日本政府に要望し、新たな世論形成をはかりたいと考え、緊急シンポジウムを7月11日に開催します。

ぜひとも、みなさまのご協力・ご賛同をお願い申し上げます。

名 称： 緊急シンポジウム「東北アジアの平和と日朝国交正常化」
日 時： 2006年7月11日(火)18:30～20:45 18:00開場
会 場： 総評会館2F大会議室(千代田区神田駿河台3-2-11 03-3253-1771)
パネリスト： 李鍾元(立教大学教授)、斎藤貴男(ジャーナリスト)、吉田康彦(大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員教授)、和田春樹(東京大学名誉教授・日朝国交促進国民協会事務局長)、榎渕万里(ピースポート事務局長、司会・コーディネータ)他ノ意見表明=日朝友好地方組織、東京23区日朝友好議員連盟、民族学校関係者、「韓国・朝鮮の遺族とともに2006夏」実行委員会などノ集会アピール(政府への要請文)採択
主 催： 緊急シンポジウム実行委員会

呼びかけ=東北アジアに非核・平和の確立を!日朝国交正常化を求める連絡会
(略称・東北アジア連絡会、連絡先事務局=平和フォーラム)

緊急シンポジウム「東北アジアの平和と日朝国交正常化」の趣旨に

ご賛同いただけましたら、必要事項にご記入の上、返送してください

お名前 _____ 肩書き _____

団体名 _____

連絡先住所 _____

_____ FAX _____

E-mail _____

返信先 FAX:03-5289-8223 E-MAIL:peace-forum@jca.apc.org
シンポジウムの内容や賛同者一覧は <http://www.peace-forum.com/> をご覧ください

連絡先=フォーラム平和・人権・環境

千代田区神田駿河台3-2-11総評会館5F Tel03-5289-8222 Fax03-5289-8223

賛同カンパにご協力を 振込先=口座名 フォーラム平和・人権・環境

(当日でも結構です) 郵便振替 00100-8-663541